

～放課後子ども教室 活動事例のご紹介～

潮見小学校放課後子ども教室

プログラミング教室

「Scratch(スクラッチ)」というプログラミングソフトを使用し、2つのプログラムを学びました。

まず、「アナログ時計のプログラム」では、自分で入力して作った時計の針を動かすプログラムを学びました。

「翻訳のプログラム」では、翻訳機能と音声合成機能を組み合わせ、自分の作ったキャラクターが入力した日本語の言葉を英語に翻訳して話すというプログラムを学びました。

小学校でプログラミングが必修化されることもあり、子どもたちにプログラミングを楽しく学び、身近に感じてほしい



場所 潮見小学校

準備するもの パソコン、プログラミングソフト

講師 双峰設備(株) (ながさき土曜学習応援団)



コロナ禍で
こんなところを工夫しました



- 10名程度に限定し、密を避けた
- 事前に健康観察表を配布して、当日の体温・健康状態を記入してもらい、体調不良の場合は参加できない旨お知らせした
- 教室入室前にアルコール消毒、マスク着用の指導、常時換気した

おすすめ!

スマート・スクール・SASEBO構想により子どもたちには一台ずつパソコンが貸与されているので、放課後子ども教室でプログラミングを学ぶことにより、パソコンの操作などをより身近に感じ、興味を持たせることができるよい機会になると思います。

月
日()
日直

